

## 普仙寺だより

第130号 平成18年1月



総代会役員の皆さんに年末の大掃除をして頂きました  
平成17年12月17日、普仙寺本堂前にて

## 戌年はいつから

平成18年は、干支では丙戌(ひのえ・いぬ)に当たります。

干支は中国暦に発し、十干十二支を組み合わせる年を数えます。

十干は

甲(きのえ)・乙(きのと)・丙(ひのえ)・丁(ひのと)・戊(つちのえ)・己(つちのと)・庚(かのえ)・辛(かのと)・壬(みずのえ)・癸(みずのと)

十二支は

子(ね)・丑(うし)・寅(とら)・卯(う)・辰(たつ)・巳(み)・午(うま)・未(ひつじ)・申(さる)・酉(とり)・戌(いぬ)・亥(い)

といいます。

中国暦における年の数え方ですから、中国暦の新年から戌年(いぬどし)になるわけです。

そのため旧正月の日、つまり西暦2006年1月29日から戌年です。

## 年末大掃除

平成17年12月17日に、華頂婦人会の役員の方と、総代会の方に、年末の大掃除をしていただきました。

境内や墓地をきれいにさせていただきました。



平成17年12月17日 総代会役員の皆さんに年末の大掃除をして頂きました

## 800年前の法然上人

今から800年前、元久3年(西暦1206年)の1月に法然上人は、朔日より恒例の七日念仏を勤修なされました。第4日にいたり、阿弥陀仏、観音菩薩、勢至菩薩の三尊がご一緒に大身を現されました。また第5日に再びお姿を現されたそうです。このことは『三昧発得記(さんまいほっとくき)』という書に書かれています。

この書物は法然上人が建久9年(1198年)から元久3年(1206年)までの間に、たびたび行った別時念仏(べつじねんぶつ・日や時間を決めて念仏を数多く称える行事)において口称三昧(くしょうさんまい・口称とは、「南無阿弥陀仏」と口で称えることをいい、三昧とは、本来インド語の「サマーディ」の音訳で、「心を一処に集中させること」を意味します)を発得(ほっとく・口称三昧により、極楽の様子、多くの仏様を現前に見奉ること)した時のことを記録しています。

法然上人は自らの宗教体験を書きとめられて、これを秘蔵されていたので、生存中は誰の目にもふれられませんでした。法然上人がご往生なされた後、弟子の勢観上人が受け継いで秘蔵され、勢観上人のご往生の後、遺物の中から発見され、これが公表されたのは暦仁元年(1238年)のことでした。

800年後の現在、法然上人の三昧発得のご様子をお察ししたいと思います。

期日

平成18年4月18日(火)

場所

京都 [総本山知恩院](#)

対象者

普仙寺檀信徒で80歳(大正15年・昭和元年生まれ)を迎えられた方。  
または80歳以上で今までに参加されていない方。

付添人

当日1名に限り付添い同行が認められます。

日程

午前10時30分 受付  
午前11時 サラナ寄席・祝膳  
午後1時 祝賀式  
午後3時30分 解散

接待

記念品が頂けます。  
(但し、代理は認められません)

申込締切

2月15日までに所定の用紙に記入の上、普仙寺へお申し込み下さい。

費用

運賃は個人で負担して下さい。  
(参考:新幹線京都往復運賃13,640円)

## 寺行事案内

土曜礼拝 (どようらいはい)

毎週土曜日 午前8時30分～9時

礼拝を含むお勤めです。本家、新家の別なく、どなたでもお参り下さい。

◇内容

1. 浄土日常勤行式
2. 法然上人御法語拝読
3. 住職の法話

#### ◇法然上人御法語の予定

1月14日からは

- 後編第 8章 安心起行
- 後編第 9章 至誠心
- 後編第10章 深心
- 後編第11章 回向発願心

#### 住職説教（じゅうしよくせつきょう）

平成18年1月25日（水） 午後7時～8時

この日は、浄土宗の開祖法然上人の祥月忌日です。法然上人は建暦2年（1212）の正月25日の正午、大谷の禅房（現在の知恩院勢至堂の場所）にてご往生なされました。お年は、お釈迦様と同じ80歳でした。法然上人のご生涯を普仙寺本堂に掛けた絵伝を指しながらお説教させていただきます。

法然上人の忌日法要を御忌（ぎよき）と呼びます。

普仙寺ではこの地方の習慣に倣い、月遅れでお勤めします。

本年は2月25日（土）午前11時～午後3時です。

#### 寒念仏（かんねんぶつ）

平成18年1月28日（土） 午前7時30分～8時

暦でいう寒中の間のお参りを、寒参り、寒詣で、寒行といえます。

浄土宗では特に寒念仏と呼んで、お参りします。ぜんざいの御接待をします。

※寒中（本年は1月5日から2月3日まで）

#### 善光寺如来縁日（ぜんこうじによらいえんにち）

平成18年2月8日（水） 午後6時より

本堂左脇壇にて善光寺の御詠歌をお唱えします。

#### 月並法要（つきなみほうよう）

平成18年2月8日（水） 午後6時30分より

年回忌の祥月にあたる方のご回向をいたします。

#### 御忌法要（ぎよきほうよう）

平成18年2月25日（土） 午前11時半～午後3時

◇御忌法要

◇法話

◇詠唱奉納

